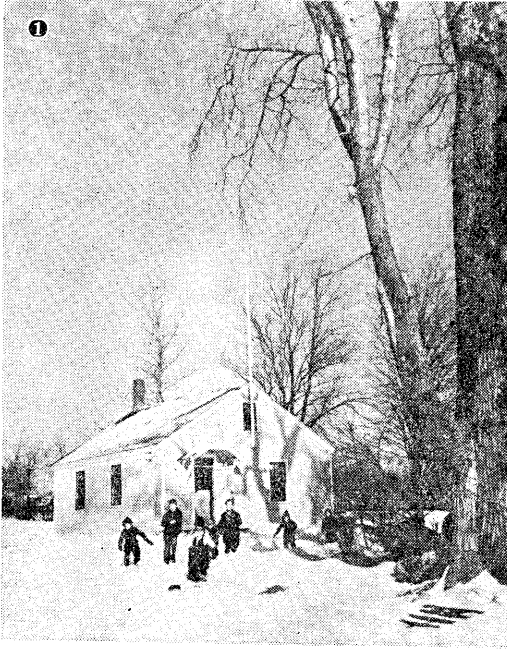


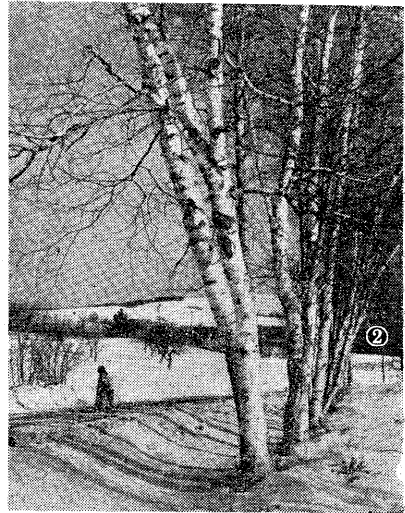
子供たちが家に帰るまで

アメリカ大使館文化交流局提供



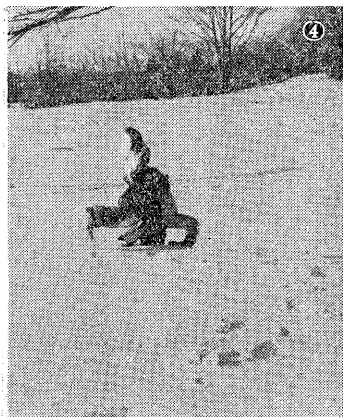
① 先生から、道草をくわずに真直にうちに帰りなさいと云われて、学校をとび出してゆく。これは米国の田舎の典型的な学校である。

② 白樺の生えた自動車道路沿いに、何か珍しいものはないかと歩いてゆく



子供達にとつては人生はすべて冒険である。最もありふれた当り前の所にも、好奇心と興奮を誘うものがかくされている。子供達にとつては「当り前」のものは何もない。すべてが新しい。

此処に掲げる数枚の写真は、一人の五才の男の子が、或る冬の日には学校から家に帰る途中の冒険の数々を捉えたものである。此の子供の住む所は、米国のメイン州北東部にあるロツクヴィルという小さな村で、彼はそこに住む人を皆よく知っている。学校から家までは約三料あるが、途中で方々に寄り道して帰るので、延べ五料はたつぷり歩いている。撮影者は、此の子供を見失わないように追いかけてまわすのに、くたくになつてしまつた。



④ 雪の野原の中を走りまわって、でんぐりがえしをする。いろんなものが、逆さまに見えるぞ



③ 近所の犬と戯れポケットからとり出した「宝物」に夢中になる。

⑤ 羊の群が、乾草のまわりにたむろしている。柵の上って眺めると、よく見える。



⑦ 学校から家まで、あちこちよりみちして帰る五粒の道筋を示してある。



⑥ 家に帰ってきて来た、母親が迎えに出て、箒で雪を払い落してやる。

